

ジノテフランの土壌蓄積要因の解明

【研究概要】

ジノテフランは広い殺虫スペクトラムと浸透移行性を持つため、農作物生産における基幹防除剤となっている。その一方で、安定性が高く、土壌残留性があることに加え、水に溶けやすい性質のため、後作物への移行及び残留が懸念されている。そこで、栽培環境と土壌中の残留濃度との関係や後作物への移行程度を解明し、土壌残留を考慮した適正使用を推進することを目的に試験を実施した。その中で、今年度は下記の成果が得られた。

- (1) 従来法と異なる方法で、土壌からのジノテフラン添加回収試験を試みたところ、メタノールを用いると 0.1～1 ppmの範囲で回収できた。しかしながら、従来法で回収可能な0.01ppmが回収できなかったため、来年度からは従来法で試験を進める。